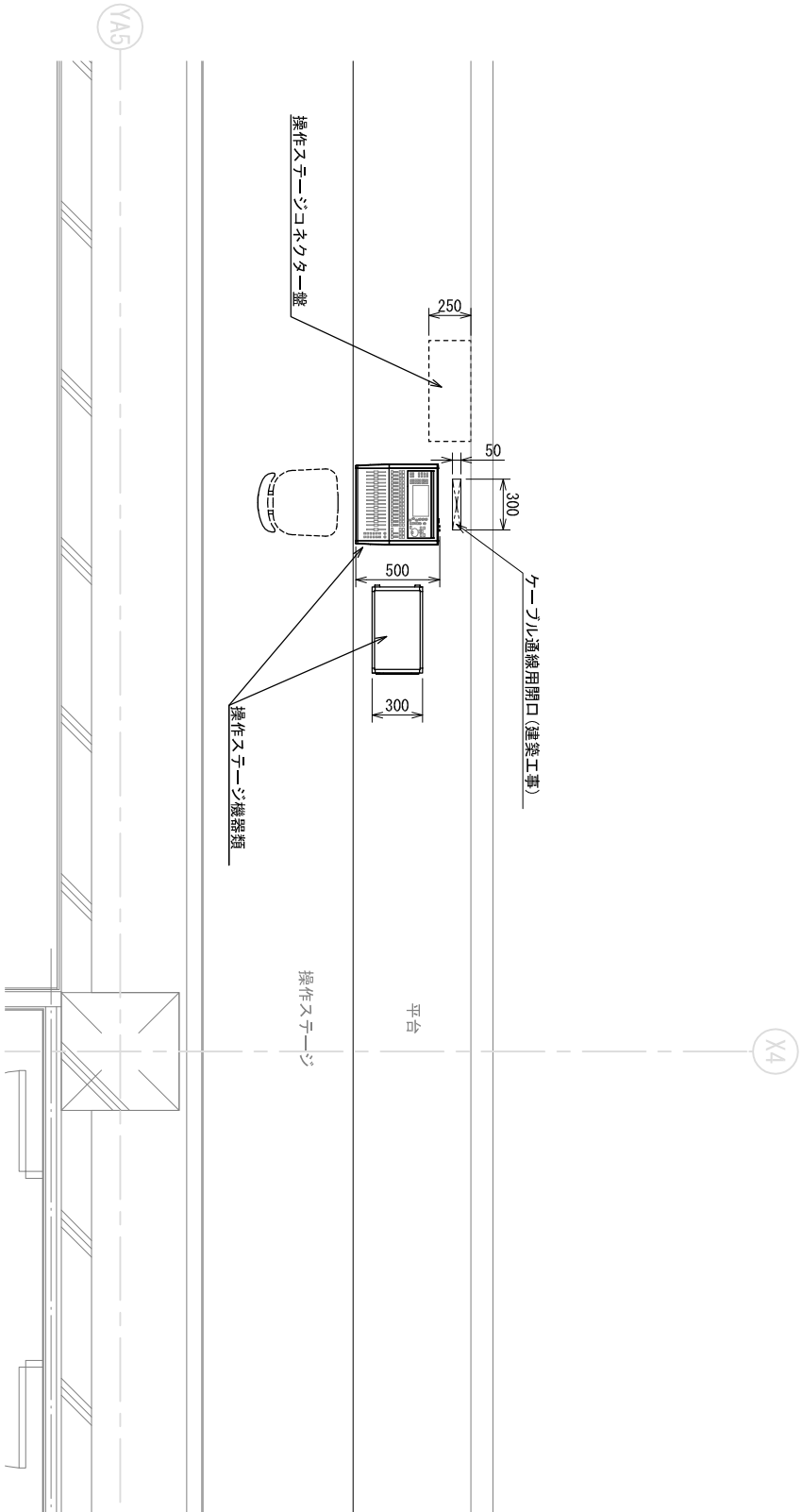
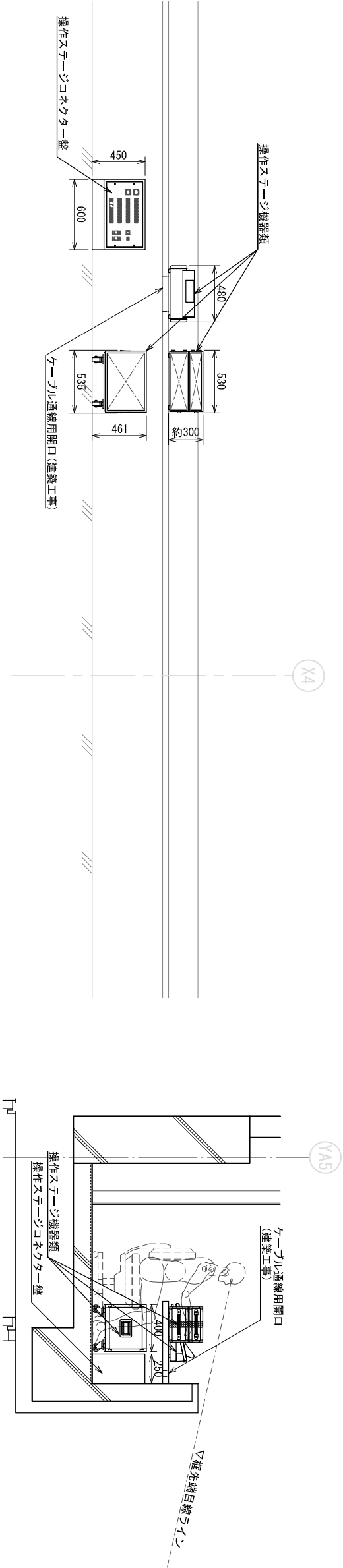


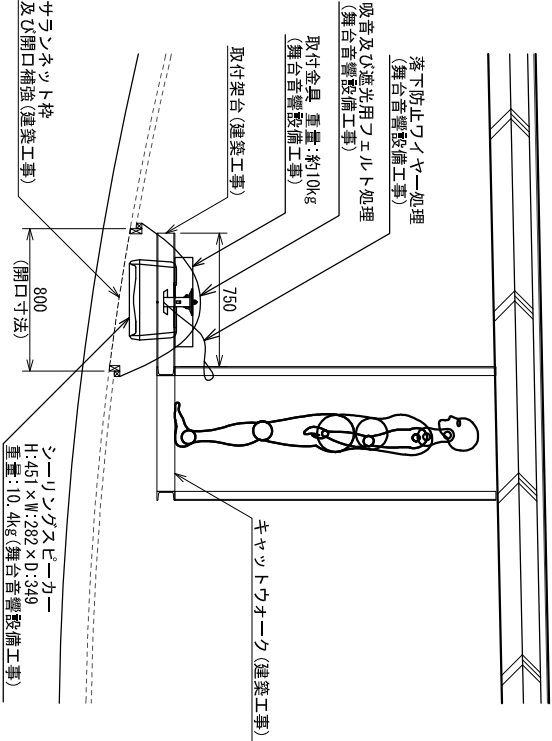
	特記仕様書
	1．システム概要 本ホール舞台音響設備は、拡声・再生・録音と舞台運送連絡等の総合調整を行う設備とし、以下に示す使用目的および使し物に要求される機能や性能を有するものとする。 １）式典、集会、講演会などの催し物におけるスピーチ拡声 ２）場内アナウンスや開演チャイム放送 ３）ホストラー音楽コンサート（ロックコンサートのような大音量を必要としているものを除く） ４）コンサート、演劇、音楽祭などの催し物における補助的な拡声機能 ５）BGMや舞踊の伴奏、演劇の効果音などのソース再生機能 ６）主催者により持ち込み、仮設された定常システムの補助機能 ７）舞台運営のための音声モニター、インテークなど舞台連絡機能 本工程で整備する舞台音響設備システム仕様を以下に示す。
	2．主なシステム仕様 1) システム制御 システム制御に使用するスイッチは動作音の小さい静音自戻式としスリッスイアクトについては行合せにより決定する。 ● 音響システム電源スイッチ 舞台音響システムの電源投入・切断は操作ステーション収録ワゴンおよび舞台袖操作ワゴンの舞台音響システム電源スイッチ操作によるものとし、システムを構成する各機器の電圧を適正な順数、タイミングで投入と切断を行う。また、電源投入を行った場所を表示すること。 ・非常制動 非常放送設備から非常制動信号を受けた場合に全てのスピーカーリー線を切斷し、操作ステーション収録ワゴン及び舞台袖操作ワゴンにて非常放送中の表示を行う（赤色点滅）。 ・閉塞チャイム制御 操作ステーション収録ワゴンおよび舞台袖操作室にてチャイム連曲（4曲程度）ができ、スタート、ストップのリモートを可能にする。 2) 音響コネクター接続 舞台各所・操作ステージなどと舞台上、移動・搬設機種の配置が予想される場所にはコネクター一線を配置する。舞台音響で使用するマイクノイズキャンセラ、インテークカム、同軸（映像等）、LAN（ワイヤレスネットワーク）、音響専用電源、音響番号用接地端子を必要数準備すること。 3) ワイヤレスマイク 受信機は80OMHz、B帯受信可能、ダイバシティ方式を採用する。 B帯のみでの同時受信を可能なものとする。 4) インテークカム装置 2系統ハイブリッド方式の有線インターカムシステムを使用する。 同一系統に接続されたズナッシュン間で同時相互通話が行え、コール表示を備える。
	3．舞台音響設備工事担当者 舞台音響設備は専門業者工事を設置し、施工管理にあたらせること。
	4．目標音響性能 舞台音響設備のホール空間を包摂した目標音響性能値を以下に示す 動作スピーカー———メインステージスピーカー———センターエリアスピーカー 1)伝送周波数特性：160Hz～5kHzにてバラツキ10dB以内 （ピンポイント信号再生時、測定ポイントは右手前の半分の客席50席につき1ポイントを目安とする） 2)定常音圧レベル分布：中心周波数2kHzのアタックゾーンの音を95dB以内（測定ポイントは下手または上手側の半分の客席4席につき1ポイントとする） 3)安全抵禦利得：－10dB以上 （ペイク入札と客席中央の測定ポイントとの音圧レベル差） 4)最大再生音圧レベル：ピンポイントにて95dB以上 （デジtalミキサー定格出力時、客席中央を測定ポイントとする） 5)残響時間T60：NC-2.5以下 （デジタルミキサー定格出力時（最大再生時のレベルセット時）に入力チューダーを絞りをきり、客席中央を測定ポイントとする） 測定方法について特記がない場合は「電気音響設備動作特性の測定方法」（I T T A 2 0 0 1 ）（日本劇場技術協会 （現、公社）劇場演出空間技術協会）」に準拠する。
	5．配管配線工事 舞台音響設備は可能な限り外部からノイズを受けないように工事を行う。ただし、ノイズを確認した場合発生箇所に対策を実施するものとする。 1) 舞台音響設備で使用される電気配線は建物内の一般回路とは別扱い、特に舞台照明系動力系などの強電回路ケーブルとの接近は絶対に避け、電力平行にならないよう工事を行うこと。 2) マイクロホン回路など低レベル信号回路に使用する配線はメイス混入が少ない編組ケーブルまたはアルミラップケーブルより線ケーブルを使用する。マイクロホンケーブルは4芯構造とし、金属管または金属ダクトによりシールドする。 絶縁抵抗は絶縁抵抗計にてホットリード間、ホットリード間、コードードリード間およびホット一極体（音響番号用アース）間、コードード一極体（音響番号用アース）間、シールド一極体（音響番号用アース）間で測定し、10MΩ以上を確認する。 3) スピーカー一回路のケールは施工後、塑性性と絶縁抵抗を測定する。 絶縁抵抗は絶縁抵抗計にてホットコード間、ホット一極体（音響番号用アース）間、コードード一極体（音響番号用アース）間で測定し、10MΩ以上を確認する。 4) 床裏まで到達して配線と、途中フットボックスやジョイント・接継部を除けばならぬ場合、天井・ペンタメントおよびパイプライン・クーリングユニットこの限ではない。 5) 金属ダクトの配線にはマイクロホン回路系とその他信号系（デジタル信号、同軸、制御、スピーカ―）を含むハブターで分離し、金属セパレーターを含むダクトは保安確保する。 ただし、同一の金属ダクトに音響専用電源を巻き掛けると同時にマイクロホン回路系ではできるだけ短縮し、金属セパレーターで分離し、金属セパレーターを含むダクトを通じ確認地とする。 配管においても金属ダクト同様同一配管内に複数（束）の異なるケーシングを混在してはならない、金属管の接続部やフットボックス前および金属ダクト等の接続前はバンド糊により密封を行う。 6) 音響番号用地坪アース配線は他と同様に簡単に識別できるようにすること。
	6．機械取付・端末終端工事 1) 音響機器の取付けの際、音響機器筐体と胴体は電気的に絶縁し、音響機器のアースは音響番号用単独C線で地に接続する。取扱要をマニュアルページなどに固定する場合や防止措置が必要な場合には絶縁シート、絶縁スリーブを使用するなど、特に注意すること。 2) コネクターは一線は筐体を共通C線または共通D線で接地し、コネクター一線に使用されるコネクターの信号回路はコネクター筐体と接続する。（コネクターのGND端子はコネクター筐体の筐体と接続する） 3) ホール内スピーカーはスピーカー本体が建築躯体内部装込に直接取り付けられず、ドリフト音が発生しないように、防振ゴムなどの緩衝材を介して取付とする。取付に使用するナットはダブルナットを基本とし、施工上困難な場合はシングルナットに締め止め処理を行い、最終締めのあとウェーキンプ処理を行うこと。その上で、ワイヤーなどになる落下防止シングルナットに締め止め処理を行い、最終締めのあとウェーキンプ処理を行うこと。必要な場合は締め止め処置を行うこと。 また、ホール内スピーカーは取付け後の音響調整時にスピーカ一方方向の調整を行うため、調整を行うため、±5°程度の調整可能な施工を行うこと。 3) ピンポイントスピーカー周辺には吸音性の高いフェルト材などによる遮光処理を行う。 スピーカ―取付け後、スピーカ―本体をフェルト材で覆うこと。 4) すべての接続ケーブルの両端には、行き先および機器出入り口名称を表示などで表示すること。
	7．機械製作工場検査 以下の項目について現場納入前に製作工場にて所定の仕面に調査した後、自主検査を行い、その試験成績書を提出する。 本検査では工事完了後想定した機能検査を行うため、室内テストテーブルを作成し接続を行い、総合試験を行う。 1) 検査対象機器 舞台袖操作ワゴン、舞台袖機器架、操作ステーション複製型、ワイヤレスマイク装置、インテークカム装置（舞台袖機器架組み込み品のみ） 2) 検査内容 2－1）員数／外観検査 納入仕様の座つき種類の員数・外形寸法・仕上げ検査を行う。構成部品についてはシリランO managementを行う。寸法公差はJIS B 4 0 4 5 相模（o）に準ずる。 2－2）箱蓋検査 納入仕様に基づき、機構配置・機構取付、内部回路状態を目視により確認をする。 2－3）機能検査 機器を動作させ、当社検閲記載「2．主システム仕様」項の内容を満たしていることを検証を行う。 2－4）性能検査 ● 恒定性 変換器より基本信号を被測定物へ入力し、被測定物から出られる信号をレベル計およびオシロスコープにてレベル、塑性性に問題ないことを確認する。 ● 回線絶縁抵抗 マイクロホン回路は絶縁抵抗計にてホットコード間、ホットリード間、コードードリード間およびホット一極体（音響番号用アース相当）、コードード一極体（音響番号用アース相当）、シールド一極体（音響番号用アース相当）の絶縁抵抗を測定する。 スピーカ―一回線はホットコード間、ホット一極体（音響番号用アース相当）、コードード一極体（音響番号用アース相当）の絶縁抵抗を測定する。 ● 絶縁抵抗 電源一次一極体間をDC 5 0 0 V の絶縁抵抗計にて測定し、10 M Ω以上を確認する。 ※不適切な部分は除外する（構成成品の破損を防止する） ● 雷害耐試験 電源二次一極体間にAC 1 0 0 0 V を1分間加えて異常のないことを確認する。 ※不適切な部分は除外する（構成成品の破損を防止する） ● ティンダルミキサ〜舞台袖機器架スピーカバスケットバーオール特性検査 デジタルミキサー出力からのスピーカ出力までの結合特性として、ミキシングインカン（規定レベル）フロセッサ類は内部設定を行い、パワーアップにて定められた10 dBゲインの状態でも高効率性変化率（100 Hz、1 kHz、10 kHz、10 kHz）ノイズレベルを測定し、データを提出する。 3) 測定器 検査で使用する測定器は校正されたものを使用する。（校正証明書を持参すること）
	8．施工後の検査・試運転調整 1) 施工状況・制作確認検査 各機器の取付けおよび接続終了後、施工状況および動作確認検査を行い正常動作を確認する。 異常があった場合には直ちに調査、修理あるいは部品交換などの処理を行うこと。特に留意するポイントは以下に示す。 ● インベーター等外来ノイズの入らないことの確認 ● ワイヤレスマイクラウドタイプのデッドポイント及び通信範囲の確認 ● スピーチ領域、タッチセンサー、フェーダー、ボリューム等正動作の確認 ● 音源ミニエータの適切な音量の確認 ● 非常放送設備との運動動作の確認 ● 設置スピーカ―から放射した隣のスピーカ―取り交持材ビッツキのないことの確認 ● 収納架の底面防止指環及び懸垂物の落下防止指環の確認 2) 機能検査 機器を動作させ、所定の機能を満足するか検査を行う。機器製作工場検査の機能検査と同じ内容で検査を行う。 3) 性能検査 機器を動作させ、所定の性能を満足するか検査を行う。機器製作工場検査の機能検査（主要機器固有特性検査、デジタルミキサー〜舞台袖機器架スピーカバスケットバーオール特性検査）と同じ内容で検査を行う。
	9．電気音響調整・測定 各機器の正常動作を確認した後、目標音響性能値の調整項目について目標機能が得られるように音響調整を行う。以下に音響調整・測定時の条件を示す。 ● 騒音のない状態で行うこと ● 舞台関係の乗降および事務所椅子が設置された状態で行うこと ● 測定に使用する測定器は定期的に校正され、校正有効期限内のものを使用すること 調整は目標音響性能基準とするが聴感による調整も行い、本ホールの用途に適した音量・音質を得られるようにする。 音響調整はホール、劇場の真台音響設備の音響調整に十分な経験を持つものが行う。 音響調整、測定後はその結果を「電気音響測定報告書」としてまとめ提出すること。報告には、調整項目についての測定データを加添する。
	10．取説説明 工事引渡し後、ホールスタッフに対して機器の取扱、操作方法、緊急時の対応方法、日常保守方法、その他詳細な説明（トレーニング）を行うこと。 時期と期間については運営スタッフ決定後に協議すること。

[illegible]

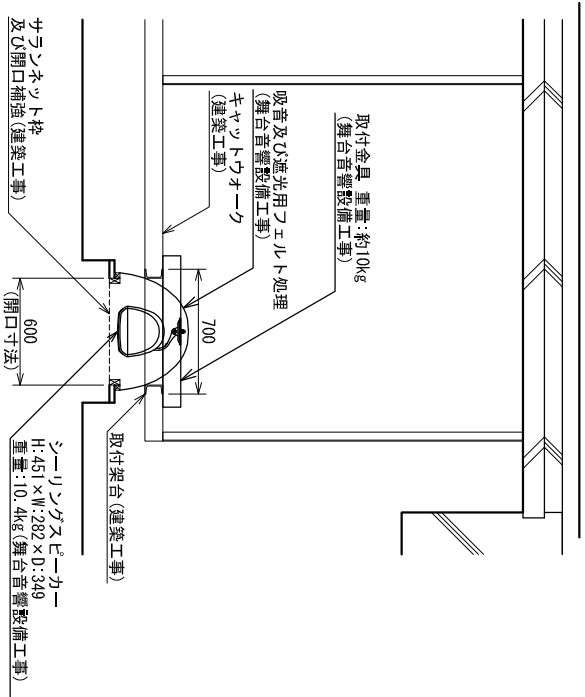
番号	機 器 名 称	仕 様	数 量	参 考 型 番
7	はね返りスピーカー	※右側下手掛ノ上手掛各1基設置 20W、構成：インテリFL、1.3インチFL、指向角度 水平：90° 垂直：50°、許容入力 170W（連続）、音圧レベル 96dB（1W/m）、周波数特性 110Hz～16kHz（-3dB）、インピーダンス 8Ω、重量 7.4kg	〈1 式〉 2 台	Electro-Voice EV-1082/95
8	1) スピーカー 2) 取付金具 3) スピーカーコネクタケーブル	特型、落下防止ワイヤー処理 特型、回路数は系統図及び要図を参照、プレート：前金属プレート	2 台 2 面	
9	移動型スピーカー 1) スピーカー	20W、構成：8インチFL、1インチFL 指向角度 水平：90° 垂直：50° 又は水平：50° 垂直：90°、許容入力 200W（連続）、音圧レベル 94dB（1W/m）、周波数特性 48Hz～20kHz（-10dB）、インピーダンス 8Ω、重量 8.4kg	〈1 式〉 2 台	Electro-Voice ZVI-90
10	2) スピーカースタンド 3) スピーカーケーブル 4) スピーカーケーブル 5) 中継アダプター	高さ 1118～2007mm ML4 - ML4、40スピーカーケーブル、5m ML4 - ML4、40スピーカーケーブル、10m スピーカーケーブル中継用アダプター	2 本 2 本 2 本 2 本	ULTIMATE TS-508 GAMRE SC05-ML SC10-ML NEURIK ML4MX
11	ホワエ・ロビー系スピーカー 1) 天井埋込型 2) 音量調整器	16cmコーン型、定格入力 3W、音圧レベル 92dB（1W/m）、周波数特性 100～12000Hz、インピーダンス 3.3kΩ（20k）、5kΩ（20k）、10kΩ（1W）、音量調節器付、アルミネット付、重量 910g 入力容量 0.5～6W、音量調節 5段階	〈1 式〉 11 台 1 台	CM-2330T-CF-237 AI-063プレート
12	操縦系スピーカー 1) 天井埋込型 2) 音量調整器	16cmコーン型、定格入力 3W、音圧レベル 92dB（1W/m）、周波数特性 100～12000Hz、インピーダンス 3.3kΩ（20k）、5kΩ（20k）、10kΩ（1W）、音量調節器付、アルミネット付、重量 910g 16cmコーン型、定格入力 5W、音圧レベル 94dB（1W/m）、周波数特性 150～12000Hz、インピーダンス 2kΩ（20k）、3.3kΩ（3W）、重量 2.1kg、音量調節器付 入力容量 0.5～6W、音量調節 5段階	〈1 式〉 2 台 2 台 2 台	CM-2330T-CF-237 AI-063プレート T0A
13	コネクタケーブル類 1) 舞台床マイクコネクタケーブル 2) 舞台床マイクコネクタケーブル 3) 舞台下手掛コネクタケーブル 4) 舞台上手掛コネクタケーブル 5) 操作椅子コネクタケーブル	特型、回路数は系統図及び要図を参照、仕上：アルミダイキャスト塗装（蓋部） 特型、回路数は系統図及び要図を参照、仕上：アルミダイキャスト塗装（蓋部） 特型、量付自立型、回路数は系統図及び要図を参照 特型、量付自立型、回路数は系統図及び要図を参照 特型、量付自立型、回路数は系統図及び要図を参照	〈1 式〉 4 面 4 面 1 面 1 面	
14	エアーモニターマイク装置 1) コンデンサ型 2) 取付金具	コンデンサ型、指向特性 カードアイト、周波数特性 20Hz～20kHz、インピーダンス 200Ω以下、寸法 φ19x146mm、バット 0/10dB付、ローカットフィルター付 特型、防振型	〈1 式〉 2 本 2 台	MG C919
15	フレイクスライク装置 1) フレイクスライク 2) フレイクス受信機 3) ハンド型マイク 4) タビ型マイク 5) ハンド型マイク	λ/2フレイクス（ブラスター内蔵）、周波数特性 797～810MHz、出力インピーダンス 50Ω 受信周波数 719、125～161.875MHz、797、125～805、875MHz、806、125～809、750MHz、受信チャンネル 172チャンネルのうち2チャンネル（42A4B） マイクミッド型、指向特性（カードアイト）、送信周波数 806、125～809、750MHz、周波数特性 50～15000Hz、寸法 φ46x25mm、0N/0F/スリット付 送信周波数 806、125～809、750MHz、周波数特性 50～15000Hz、単一指向性ラベルアライメント、ハウジングリット・コンデンサ型、指向特性 単一指向性、周波数特性 100～15000Hz、インピーダンス 200Ω（アンプトΔ時）、ケーブル長 1.4m	〈1 式〉 2 台 2 台 2 台 1 台	audio-technica ATW-1940B audio-technica ATW-1930B audio-technica ATW-1920 audio-technica ATW-M73a
16	マイクアンプ類 1) タブミッド型 2) タブミッド型 3) コンデンサ型 4) ハンド型	2系統通信機能、スピーカー内蔵、リモートコントロール、スピーカーコントロール10台 または 16ヘルツノイズコントロール40台 2系統のうち1系統をスリットに選択し通電、スピーカー内蔵、ブラススライク装置可、可搬型 2系統のうち1系統を選択し通信片耳ヘッドセット（スリット付） XLR6 - XLR6、5m 特型、回路数は系統図及び要図を参照、プレート：前金属プレート	〈1 式〉 2 本 2 本 2 本 2 本	MS-102 Clear-Qom MS-102 Clear-Qom RS-502 Clear-Qom CC-100 SHURE SM57-LCE SHURE SM58SE MG C48B Comp AUCRON POC-180

※仕様はメーカーカタログより引用
※型番は参考とし、同等品以上とする

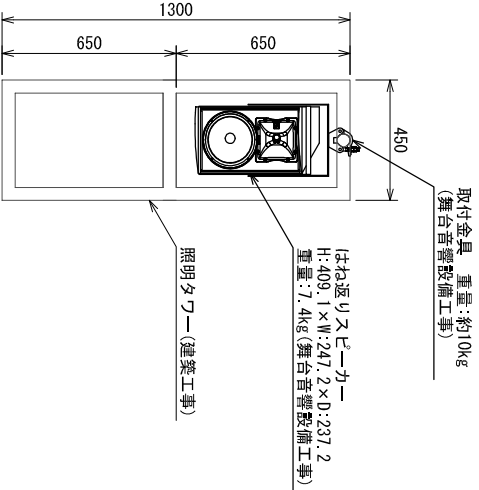




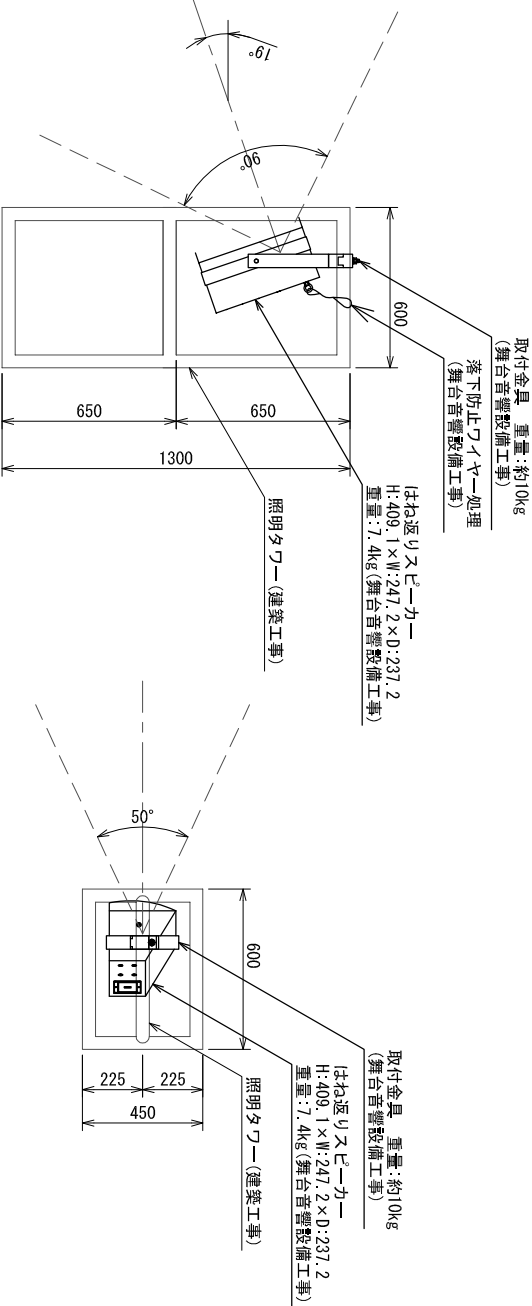
【シーリングスピーカー 断面図 S=1/30】



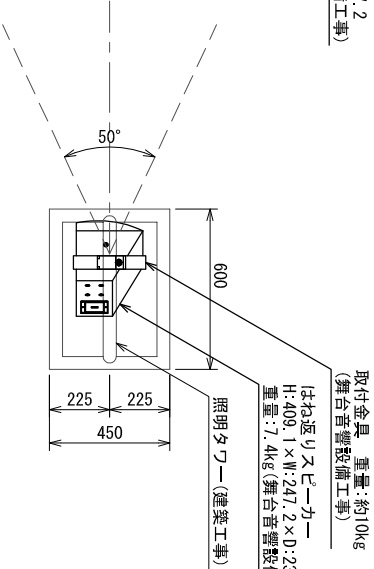
【シーリングスピーカー 正面図 S=1/30】



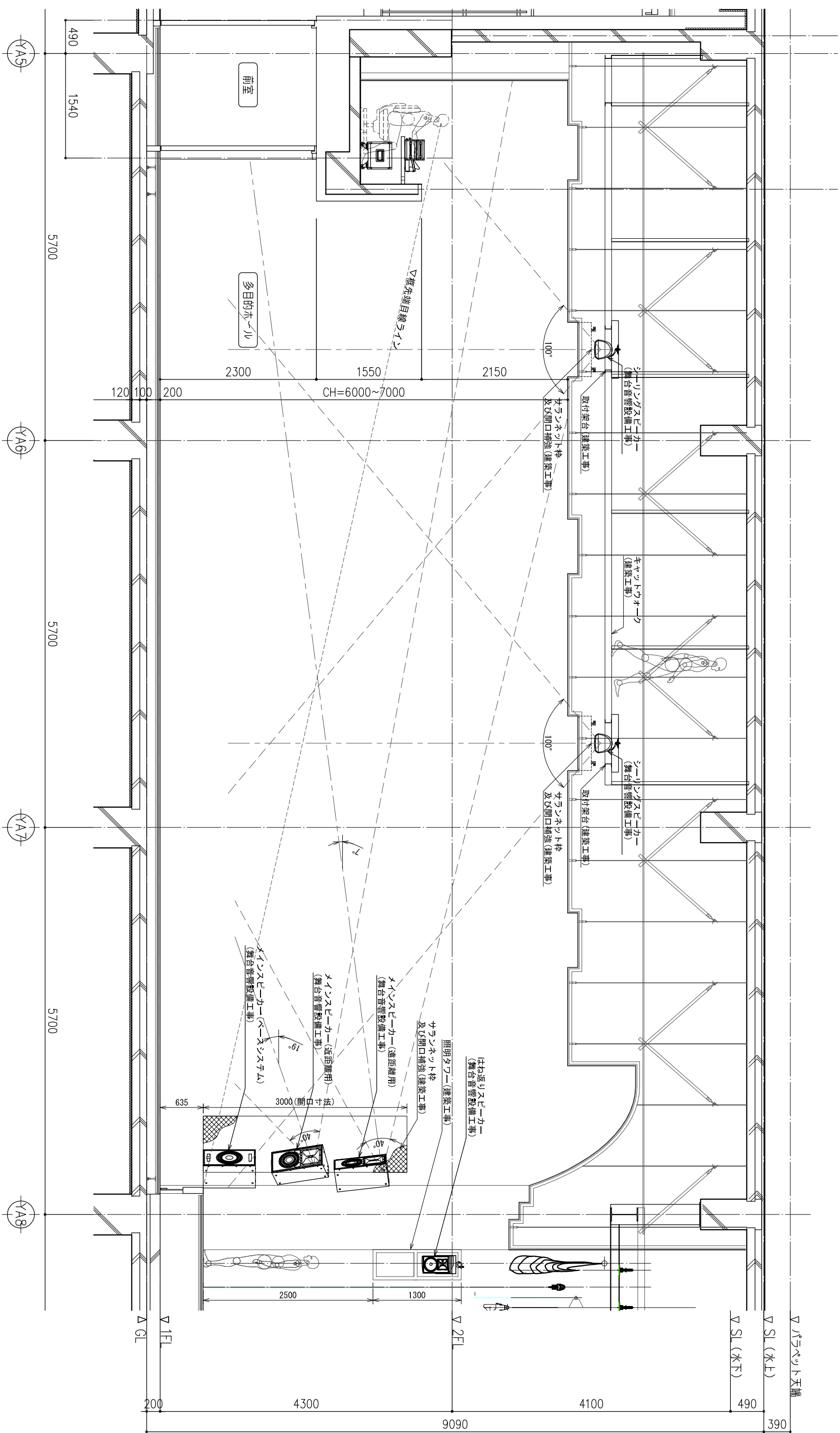
【はね返りスピーカー 断面図 S=1/20】

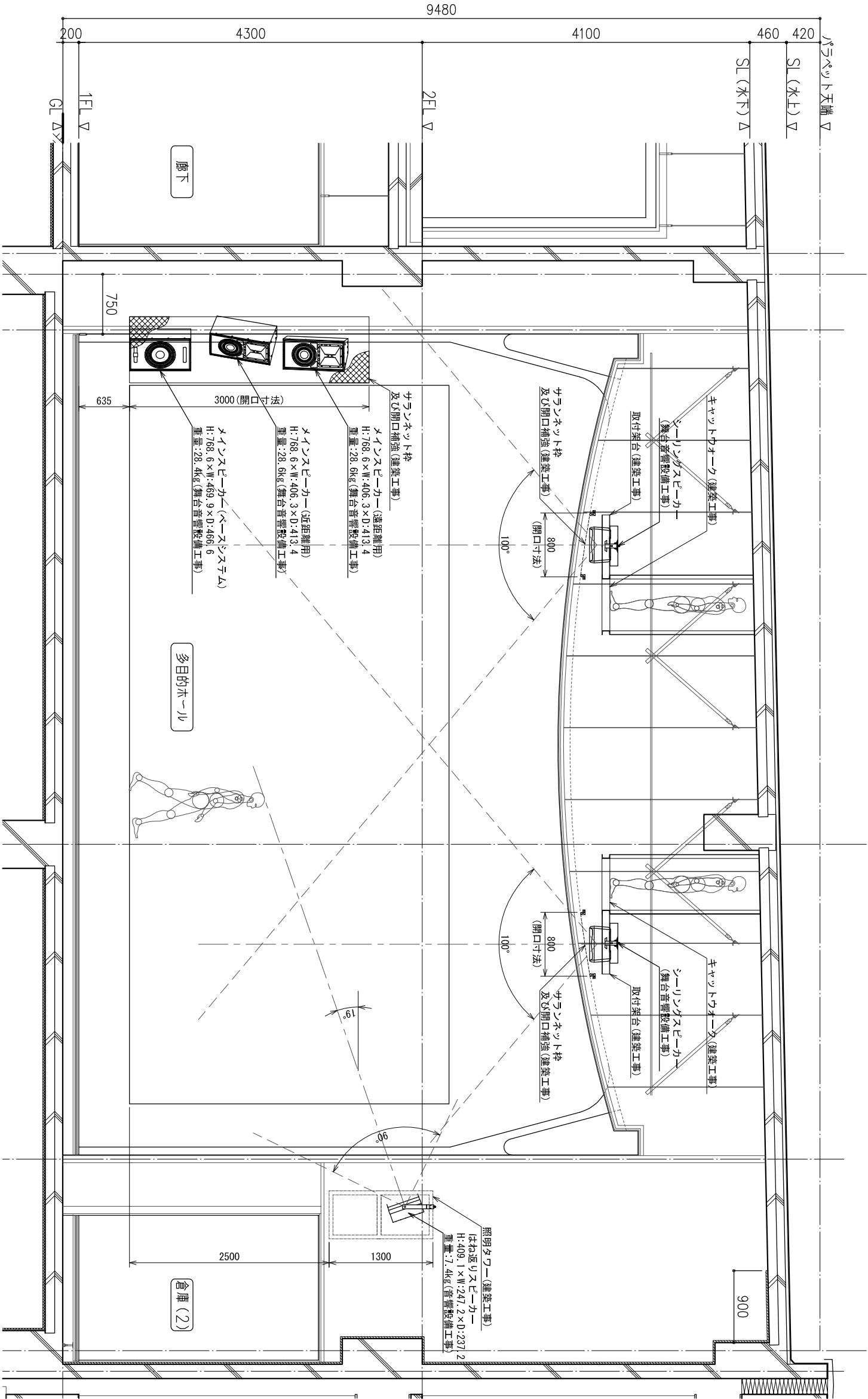


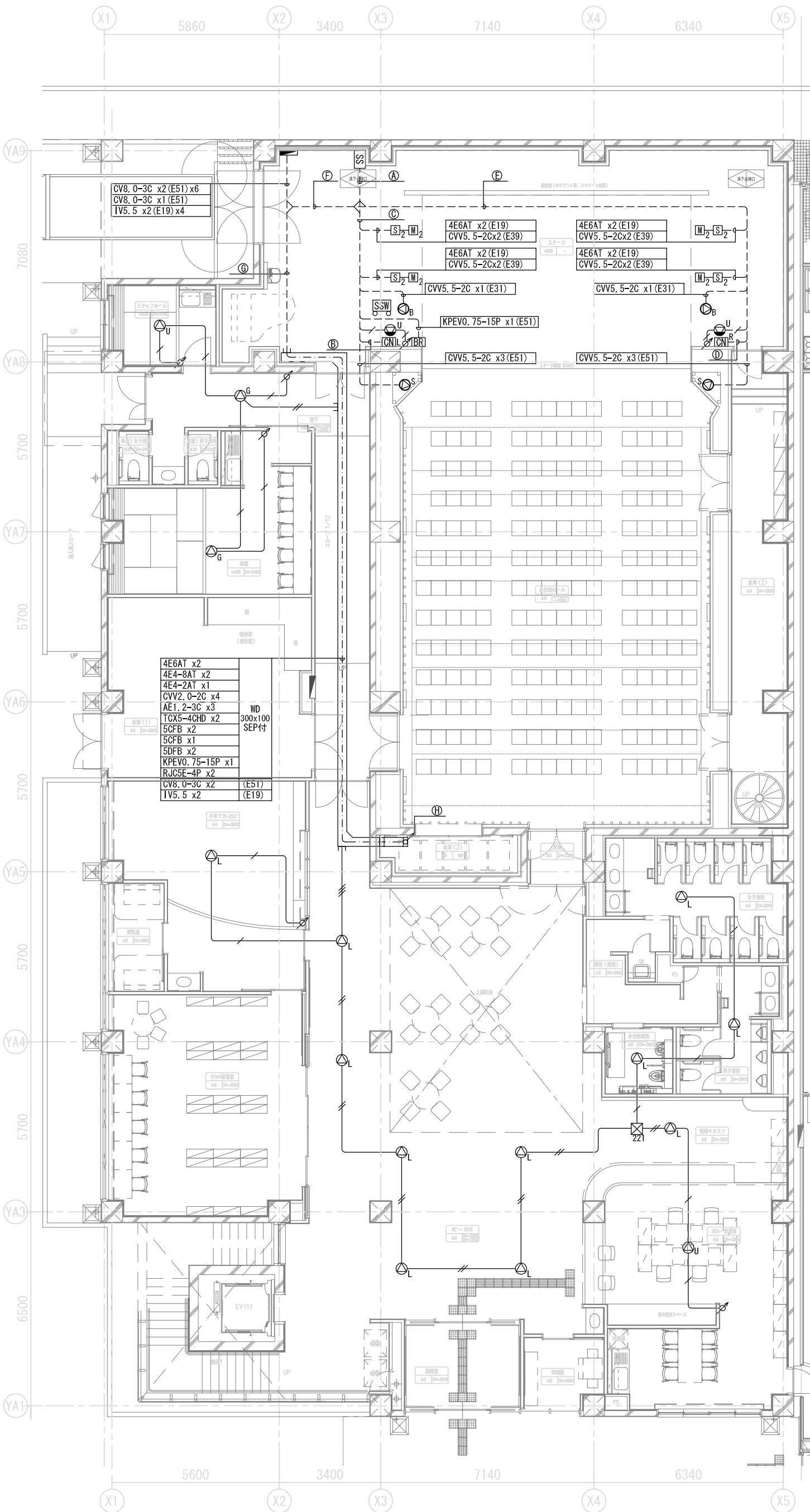
【はね返りスピーカー 正面図 S=1/20】



【はね返りスピーカー 平面図 S=1/20】







④	4E6AT x2(E19) x5 4E4-8AT x2(E51) x3 4E4-2AT x1(E25) x3 CVV5. 5-2C x3(E51) x2 CVV5. 5-2C x1(E31) x2 CVV5. 5-2C x2(E39) x6 CVV2. 0-2C x4(E51) AE1. 2-3C x4(E25) TCX5-4CHD x1(E31) x2 5CFB x2(E25) 5DFB x1(E19) 5DFB x2(E25) KPEV0. 75-15P x1(E51) x3 RJC5E-4P x2(E19) x3 CV8. 0-3C x2(E51) x2 IV5. 5 x2(E19)	⑥	4E6AT x2(E19) 4E4-8AT x2(E51) 4E4-2AT x1(E25) CVV2. 0-2C x4(E51) AE1. 2-3C x3(E25) TCX5-4CHD x1(E31) x2 5CFB x2(E25) 5DFB x1(E19) 5DFB x2(E25) KPEV0. 75-15P x1(E51) RJC5E-4P x2(E19) CV8. 0-3C x2(E51) x6 CV8. 0-3C x1(E51) IV5. 5 x2(E19) x3
---	---	---	---

⑤	4E6AT x2(E19) 4E4-8AT x2(E51) 4E4-2AT x1(E25) CVV5. 5-2C x2(E39) 5CFB x2(E25) KPEV0. 75-15P x1(E51) RJC5E-4P x2(E19) CV8. 0-3C x2(E51) x2 IV5. 5 x2(E19)	⑦	4E6AT x2(E19) 4E4-8AT x2(E51) 4E4-2AT x1(E25) CVV2. 0-2C x4(E51) AE1. 2-3C x3(E25) TCX5-4CHD x1(E31) x2 5CFB x2(E25) 5DFB x1(E19) 5DFB x2(E25) KPEV0. 75-15P x1(E51) RJC5E-4P x2(E19) CV8. 0-3C x2(E51) IV5. 5 x2(E19)
---	--	---	--

⑧	4E6AT x2(E19) x2 4E4-8AT x2(E51) 4E4-2AT x1(E25) CVV5. 5-2C x3(E51) CVV5. 5-2C x1(E31) CVV5. 5-2C x2(E39) x2 5CFB x2(E25) KPEV0. 75-15P x1(E51) x2 RJC5E-4P x2(E19) CV8. 0-3C x2(E51) x2 IV5. 5 x2(E19)	⑨	4E6AT x2 4E4-8AT x2 4E4-2AT x1 CVV2. 0-2C x4 TCX5-4CHD x2 5CFB x2 5DFB x1 5DFB x2 KPEV0. 75-15P x1 RJC5E-4P x2 CV8. 0-3C x2 (E51) IV5. 5 x2 (E19)
---	---	---	--

⑩	4E6AT x2(E19) x2 4E4-8AT x2(E51) 4E4-2AT x1(E25) CVV5. 5-2C x2(E39) 5CFB x2(E25) RJC5E-4P x2(E19) CV8. 0-3C x2(E51) CV8. 0-3C x1(E51) IV5. 5 x2(E19)	⑪	4E6AT x2(E19) x2 4E4-8AT x2(E51) 4E4-2AT x1(E25) CVV5. 5-2C x3(E51) CVV5. 5-2C x1(E31) CVV5. 5-2C x2(E39) x2 5CFB x2(E25) RJC5E-4P x2(E19) CV8. 0-3C x2(E51) CV8. 0-3C x1(E51) IV5. 5 x2(E19)
---	--	---	---

凡 例 (機器関係)

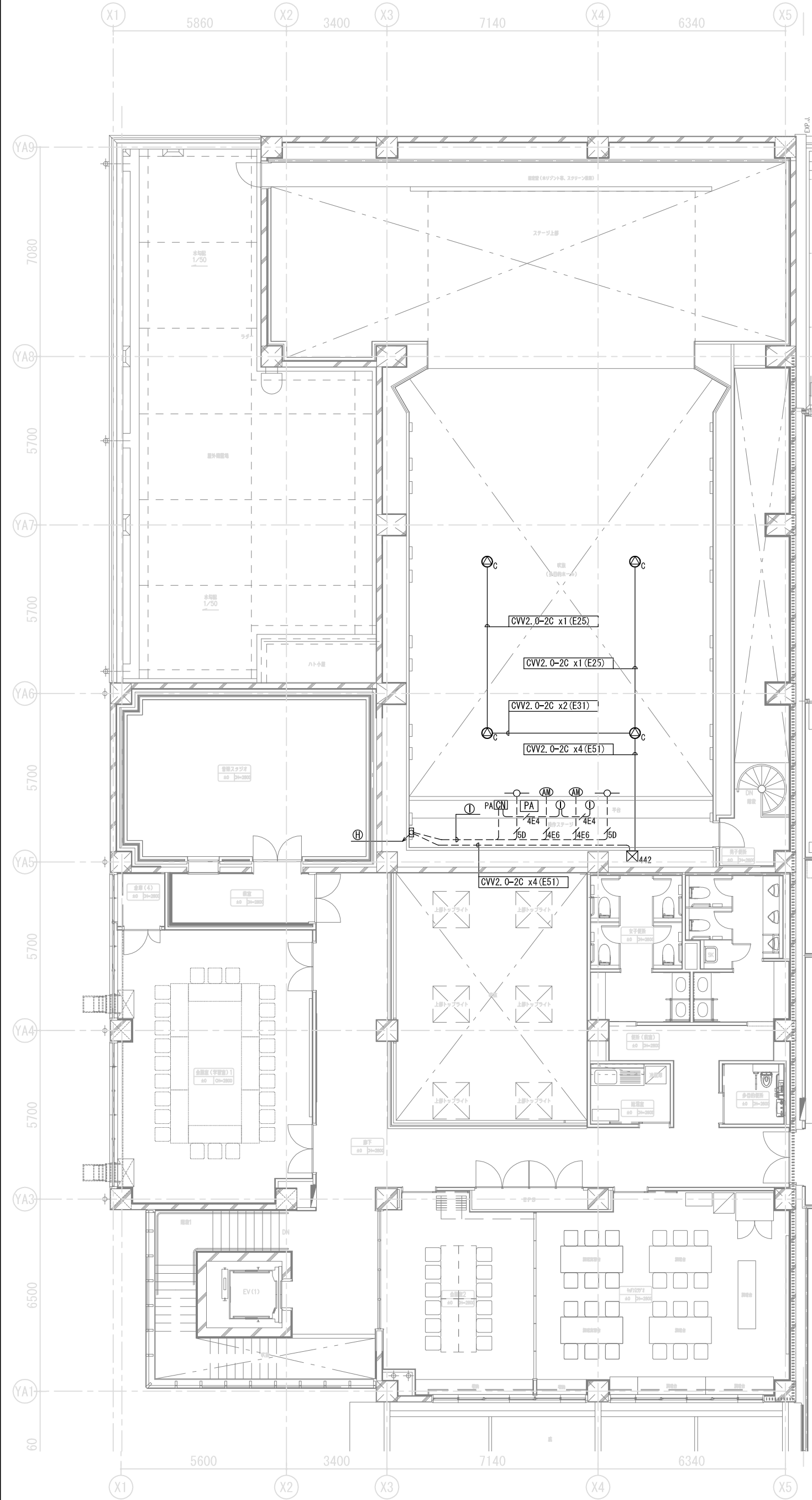
記 号	名 称
SSW	舞台袖操作ワゴン
SS	舞台袖機器架
PA	操作ステージ機器類
—○—	ワイヤレスアンテナ
⊙ _S	メインスピーカー
⊙ _B	はね返りスピーカー
⊙ _C	シーリングスピーカー
⊙ _U	運営系スピーカー(壁面設置)
⊙ _L	運営系スピーカー
⊙ _G	楽屋系スピーカー(壁面設置)
⊙ _E	楽屋系スピーカー
⊙ _L	ホワイエ・ロビー系スピーカー
⊙	アッテネーター (音量調整器)
CN1L	舞台下手袖コネクター盤
CN1R	舞台上手袖コネクター盤
CN1PA	操作ステージコネクター盤
M _n	舞台床マイクコネクターボックス
S _n	舞台床スピーカーコネクターボックス
BR	プザーリモートパネル(舞台機構操作盤組込)
AM	エアーモニターマイク装置
①	インカムコネクタープレート

※nはCH数を表す／塗潰し側を壁とする

凡 例 (配管配線関係)

記 号	名 称
■	音響専用電源分電盤(電気設備工事)
⊠	ブルボックス (200x200x100)
↗	立ち上げ
↘	スルー
↙	立ち下げ
—	AE1. 2-3C x1(PF16)
—	AE1. 2-3C x2(PF16)
—	AE1. 2-3C x3(PF22)
4E4	4E4-2AT x1(E25)
4E6	4E6AT x1(E19)
5DF	5DFB x1(E19)

※本図に関する配管配線工事に関しては、電気設備工事区分とする



④	4E6AT x2	WD 300x100 SEP付
	4E4-8AT x2	
	4E4-2AT x1	
	CVV2. 0-2C x4	
	TCX5-4CHD x2	
	5CFB x2	
	5CFB x1	
	5DFB x2	
	KPEV0. 75-15P x1	
	RJC5E-4P x2	
	CV8. 0-3C x2	(E51)
	IV5. 5 x2	(E19)

①	4E6AT x2 (E19)
	4E4-8AT x2 (E51)
	4E4-2AT x1 (E25)
	TCX5-4CHD x1 (E31) x2
	5CFB x2 (E25)
	5CFB x1 (E19)
	5DFB x2 (E25)
	KPEV0. 75-15P x1 (E51)
	RJC5E-4P x2 (E19)
	CV8. 0-3C x2 (E51)
	IV5. 5 x2 (E19)

凡 例（機器関係）

記 号	名 称
SSW	舞台袖操作ワゴン
SS	舞台袖機器架
PA	操作ステージ機器類
—○—	ワイヤレスアンテナ
⊙ _S	メインスピーカー
⊙ _B	はね返りスピーカー
⊙ _C	シーリングスピーカー
⊙ _U	運営系スピーカー（壁面設置）
⊙ _U	運営系スピーカー
⊙ _G	楽屋系スピーカー（壁面設置）
⊙ _G	楽屋系スピーカー
⊙ _L	ホワイエ・ロビー系スピーカー
∠	アッテネーター（音量調整器）
CN L	舞台下手袖コネクター盤
CN R	舞台上手袖コネクター盤
CN PA	操作ステージコネクター盤
M _n	舞台床マイクコネクターボックス
S _n	舞台床スピーカーコネクターボックス
BR	プザーリモートパネル（舞台機構操作盤組込）
AM	エアーモニターマイク装置
①	インカムコネクタープレート

※nはCH数を表す／塗潰し側を壁とする

凡 例（配管配線関係）

記 号	名 称
■	音響専用電源分電盤（電気設備工事）
⊠	ブルボックス（200x200x100）
↗	立ち上げ
↘	スルー
↙	立ち下げ
—	AE1. 2-3C x1 (PF16)
—	AE1. 2-3C x2 (PF16)
—	AE1. 2-3C x3 (PF22)
4E4	4E4-2AT x1 (E25)
4E6	4E6AT x1 (E19)
5D	5DFB x1 (E19)

※本図に関する配管配線工事に関しては、電気設備工事区分とする